

## 歴博 暮らしの植物苑だより

暮らしの植物苑観察会

第100回 7月28日 13:30～ 観察会100回記念 観察会参加者先着200名様  
記念絵葉書プレゼント

「市民のための暮らしの植物苑」 辻 誠一郎（東京大学大学院）

第101回 8月25日 10:00～ 時間がいつもと違います

「変化朝顔の世界」 仁田坂英二（九州大学大学院）

今週の見どころ 毎木曜日更新 <http://www.rekihaku.ac.jp>

## 季節の伝統植物－江戸を咲かす－『伝統の朝顔』

### 7月24日～9月2日

7月24日内覧会 参加は自由です 展示プロジェクト委員による解説があります。内覧会終了後（11:00から朝顔の有償頒布があります）お一人様6鉢まで 会期中の午前中は栽培担当者による解説があります。



今年咲いた朝顔の第1号です。



こちらはどんな花が咲くのでしょうか

ゴボウ（キク科ゴボウ属）

長く伸びた根を主に日本人が食用にします、ヨーロッパでは根を薬用にもちいます。実は2年草から多年草です。根がよく伸びるので耕土が深い地方で栽培されることが多いです。写真は今年の3月に蒔いたものでこんなにも大きくなっています。



リョウブ (リョウブ科リョウブ属)  
樹皮がはげ易い落葉小高木です。枝先に数本に分岐した総状花序をつけ、多数の花をつけます。春には若芽を食用にします、材は硬く目が詰んでいるので細工物に使われます。



オニバス (スイレン科オニバス属)  
池や堀などに生育する1年草、葉の形が幼葉と成葉とでずいぶんと違います。葉の脈上には棘が多い。花は長い花柄上に単生するが、雨の日には水面上で開花している。



ヤブカンゾウ (ユリ科キスゲ属)  
地下に長い総出枝をだして増える。根やつぼみは、はれもの・利尿薬として利用される。



ケンポナシ (クロウメモドキ科ケンポナシ属)  
すらりとした落葉広葉樹。花は新しい枝の葉腋に集散花序をつける。花には独特の匂いがあり、昆虫や蝶がたくさん集まってきます。



センノウ (ナデシコ科センノウ属)  
中国原産の植物で、日本の室町時代には生け花や、七夕の宵に宮中に献じられる七夕花扇の七種の花に含まれています。絶滅したのではと思われていたものが、95年に見つかりました。日本のセンノウは3倍体なので種子が出来ません。

